



いつも森永乳業の通信販売をご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、お客様が安心してお飲みいただける商品の開発、製造を行うために以下の安全性への取り組みを続けております。

サプリメントの安全性にご不安を感じているお客様も多くいらっしゃると思いますが、ご一読のうえ、ご安心いただけますと幸いです。

### **原材料の安全性**

弊社は安全な原材料を確保するために、採用前に起源原料および原料工場における工程のハザード分析を実施しています。また、原材料のサプライヤー様から提出される品質保証文書を精査し、安全性を確認した上で現物検査等を行い、合格したものを使用しています。

### **製造工程の安全性**

弊社の品質管理部門が工場とその製造設備や管理体制を継続的に監査し、安全性を確認しています。また、対象の工場は品質マネジメントの各種認証（健康補助食品 GMP、FSSC22000、ISO22000 など）を取得しています。

### **商品の安全性**

各製造工場で製造ロット毎に微生物検査をはじめとする各種検査を行っています。さらに本社においても一部検査を実施し、双方の結果に基づき品質管理部門が合否判定を行い、合格したものを出荷しています。

※日本はもちろん海外でも認められる「ビフィズス菌 BB536」

弊社の「ビフィズス菌 BB536」は日本国内に加え、これまで累計 30 か国以上で健康食品や育児用食品に使用された実績があります。約半世紀にわたる「ビフィズス菌 BB536」の研究や商品への応用から、その安全性が認められ、米国においては GRAS(Generally Recognized As Safe『一般的に安全と認められたもの』)を取得し、中国では 新食品原料（中国で伝統的な食習慣を持たない食品原料を中国国内で販売するために必要な制度）に登録されています。長年の研究と商品応用に裏付けられた安全性を誇ります。

※ヒトのビフィズス菌と動物のビフィズス菌

ビフィズス菌というのは、ビフィドバクテリウム（*Bifidobacterium*）属に分類されている菌の総称で、ひとくちにビフィズス菌といってもその種類は多く、ヒトと動物ではすんでいる菌の種類が異なります。

ヒトの腸にすむビフィズス菌種は動物の腸内からはほとんど見つからず、一方で動物のビフィズス菌種はヒトの腸内にはすみつかないと考えられています。このように、ヒトのビフィズス菌と動物のビフィズス菌はそれぞれに適した環境が異なると言われています。

弊社はヒトの腸内にすむビフィズス菌にこだわって研究開発を行っています。

私たちはこれからも、さまざまな商品を通して皆さまとご家族さまの健康と笑顔をサポートできるように努めてまいります。

かがやく“笑顔”のために  
**森永乳業**